

教育実習事前・事後学習（幼・小）（1 単位）

専門 > 教育学部 > 基礎理解に関する科目等

3 年、4 年 通年(前→後)

松友 一雄 (jle-labo@u-fukui.ac.jp、(2340)、1 号館 4 階 松友研究室、実務経験：学校等)

■ナンバリングコード

05-EPT-322 教育学部 学校教育課程 / 教育実習 [3 年次レベル]

■授業概要

事前学習は、それまでの学習経験をベースに、実習校での授業づくり・実践、児童や生徒との関わり等において責任ある行動を果たせるよう、万全の準備を行い、教育実習に臨むための態度と姿勢を身に着けるためのものである。

事後学習では、教育実習での様々な経験を振り返りながら自身の課題を確め、教員免許取得までにさらに習得する必要がある知識や技能等を理解する。

■到達目標

①教育実習の目的・意義を深く理解し、実習校での学習指導や生徒指導に関わる自覚と責任をもつこと。

②教員としてのマナーや校務分掌の理解、教材分析・研究の方法の獲得、学習指導案の作成、模擬授業を通して、教育実習に臨むための基本的な能力を身につけること。

③教育実習で得られた成果や課題を振り返り、教員免許取得までにさらに習得すべき知識や高めるべき力量を明らかにすること。

■授業内容

事前指導については実習校での授業参観も含み、必ず出席すること。事後指導については別途、指示する。

■準備学習（予習・復習）等

「教育実習の手引き」に書かれていることをよく読み、理解しておくこと。

授業準備や教材研究、幼児・児童理解に関する学習をしっかりと進めておくこと。

■授業形式

【授業形式】

講義、演習

■成績評価の方法

実習校と大学教員が協議の上、授業参観記録、実習記録、実習後のレポート等の内容を踏まえて、それぞれの取り組み状況を総合的に評価する。

■教科書・参考書等

資料等は必要に応じて配布する。

■その他注意事項等

「教育実習の手引き」をよく読んでおくこと。また、大学・実習校からの指示や連絡事項等を必ずチェックしておくこと。

■キーワード

教育実習、事前・事後指導、実習のふり振り返り

■アクティブ・ラーニング

アクティブ・ラーニングを一部導入した科目

■授業形態

対面授業

■SDGs

4.質の高い教育をみんなに